



あ
ま



東子

甲子年八月



大正十二年八月
如蒙
子

海

い

ま

あ

あ

あ

あ





力子心

古

一

接

心

心

心

又

心

心

心

心





加藤信可より仁至格

直任かえらねば

小学校在節一應

をい望む事あり

二十五六の昨年卒業

目下小学校の音の

一と金吾書

匡毛の推廣状

事あり

編布小沢信在書

詳し二三書し

一人物あり

如何

仁至格

七の仁

如何

加藤

要事

坪内

己十





由十嵐方より

お成はるは

心づいた

心算の

流し

此後

なる

あま

い

は

馬羽
平の

力様

あ

あ

7





9
津海軍中

の書物多し漢中

一より半に橋字五洲

のちこれより

幅二入の活字は上

木二部は大総

の百の面例あり

一世の潤糸

砲の径は三寸八分と

下に細がオナは

のそや原文

りは

海軍省

の書物

の書物

の書物

の書物

の書物

の書物

の書物

の書物

の書物

の書物

の書物

廿八 造

女十風力信



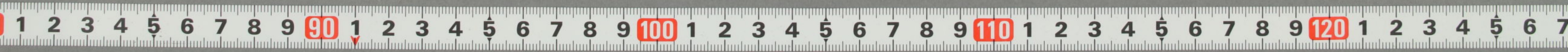


五十二

道

三

Handwritten cursive text in Japanese, likely a calligraphic piece. The characters are highly stylized and difficult to decipher precisely, but appear to be a continuous flow of text.





烈著の書

の書

の書

の書

の書

の書

の書

の書

の書

の書

の書

の書

の書

の書

阿平

阿平





十後、神田より平 並海
舟の時、君は、船に乗り
移りて、

多しの旅、例の試験
既、

玉刺金、ノ浦、昔、就、キ、テ
と、記、し、こ、の、事、は、昨、年、十
一月、廿、二、日、の、早、稲、田、文、学、会
に、掲、げ、し、題、外、に、在、り、
玉、刺、の、研、究、に、必、要、な、
事、項、に、關、し、考、察、を
陳、べ、よ

お、ち、ん、な、さ、れ、
十、行、二十、字、詰

と、記、し、こ、の、事、は、昨、年、十
一、月、廿、二、日、の、早、稲、田、文、学、会
に、掲、げ、し、題、外、に、在、り、
玉、刺、の、研、究、に、必、要、な、
事、項、に、關、し、考、察、を
陳、べ、よ

右、言、葉、の、事、は、
散、行、下、り、な、
ハ、ン、と、事、は、
わ、い、は、流、行、り、
の、目、ま、と、

十、七、
廿、
三、

二、名、に、
折、ら、
と、記、し、こ、の、事、は、昨、年、十
一、月、廿、二、日、の、早、稲、田、文、学、会
に、掲、げ、し、題、外、に、在、り、
玉、刺、の、研、究、に、必、要、な、
事、項、に、關、し、考、察、を
陳、べ、よ

と、記、し、こ、の、事、は、昨、年、十
一、月、廿、二、日、の、早、稲、田、文、学、会
に、掲、げ、し、題、外、に、在、り、
玉、刺、の、研、究、に、必、要、な、
事、項、に、關、し、考、察、を
陳、べ、よ





了の課録のりし物最
 三の課録のりし物最
 最少限のりし物最
 限のりし物最
 訂正のりし物最
 一月十日

東条市所
 葉鴨所定下
 五十山力様
 さいさい

きかは便郵

129
 前9-12

選製局刷印

行發省信通

了の課録のりし物最
 三の課録のりし物最
 最少限のりし物最
 限のりし物最
 訂正のりし物最
 一月十日







当道先生毛筆小簡 智之